

平成 23 年度第 9 回理事会次第

日 時 平成 24 年 3 月 17 日 (土) 10 : 00

会 場 千葉県社会福祉センター4 階会議室

1. 出席者及び資料の確認

2. 開会

3・会長挨拶

4. 議 題 (1) 各委員会報告事項に対する質疑

(2) 議事

1. 千葉県社会福祉士会代議員選任規程の改正について

2. 社会福祉士ささえあい制度配分委員会について

3. 本会と(社)日本社会福祉士会の事務委託契約について

4. 社団法人千葉県社会福祉士会退職手当規程の廃止について

(3) その他

5. 閉会

【広報部会】

今回、開催された会議はありません。

『点と線』第 78 号は 3 月 27 日(火)19:00～
柏市の沼南地域包括支援センターにて、発送作業を行います。

場所: 沼南地域包括支援センター

千葉県柏市風早 1-2-2 沼南社会福祉センター内

04-7190-1900

<http://www.kashiwa-shakyo.or.jp/houkatusien%20-%20center/houkatsutop.html>

理事の皆様で、ご都合のつく方がいらっしゃいましたら、ぜひご参加ください。

<災害対策委員会>

今回、会議は開催しておりません。

3月発行の『点と線』に、「千葉県社会福祉士会災害時対応ガイドライン」と「大規模災害時被災地支援活動協力会員登録用紙」及び登録依頼文を同封いたします。

登録用紙及び依頼文については、次の資料をご確認ください。

「ガイドライン」については、以前に提出したものから内容の変更はございませんので、添付は割愛させていただきます。

平成 24 年 3 月 27 日

会員各位

社団法人 千葉県社会福祉士会
災害対策委員会 委員長 鈴木 将人

被災地支援活動協力会員登録のお願いについて

平素より、当会の活動にご協力いただき、誠にありがとうございます。

平成 23 年 3 月 11 日に発生した東日本大震災にて被災された方々に心より
お見舞い申し上げます。

また、被災地の復興支援にあたりご尽力されている皆様に、心から敬意を表
します。

東日本大震災の復興にあたっては、千葉県社会福祉士会としても多くの会員
の皆様のご協力をいただき、県内・県外の被災地支援活動を展開して参りまし
た。被災地の街並みは、一年が経ち活気を取り戻しつつあるところも多くなっ
てきましたが、それぞれの生活の厳しさはまだ継続しております。今後も、会
として支援を展開していくとともに、会員個人としての活動への協力と情報共
有も続けていきたいと考えております。

また、いつどこで新たな災害が起こるかは分かりません。二度と起きて欲し
くはありませんが、自然災害については発災を防ぐ手立てはありません。まず
は、その時にいち早く身の安全を確保することが重要です。その後、可能にな
った段階で会としての効果的な支援を組み立てていくために、

「大規模災害時被災地支援活動協力会員」のリストを作成することにいたしま
した。 裏面の登録申請用紙に必要事項をご記入いただき、FAXもしくはメ
ールにて事務局あてご送信ください。

なお、今回ご登録いただいた方には、今後被災地支援が必要な大規模災害が
起きた際に、活動可能な場所・内容・期間等についてご相談の上、支援活動へ
のご協力をお願いをさせていただきます。また、被災地支援活動等災害時対応
に係る研修等を開催する際には、ご案内をさせていただきます。その他の
目的での使用はいたしません。

千葉県社会福祉士会の『災害時対応ガイドライン』を同封いたします。内容
についてご確認いただき、当会の方針をご理解の上、協力会員としてご登録い
ただければ幸いです。

皆様、どうぞよろしくお願いいたします。

事務局 FAX : 043-238-2867

E-Mail : cswchiba@sweet.ocn.ne.jp

大規模災害時において被災地への支援活動に参加可能な方はご記入ください。
参加を依頼する際は、必ず事前にご希望及びご都合を確認いたします。

地域包括支援センター部会報告事項

報告事項

障害者虐待防止・権利擁護指導者養成研修について

3 月 2 日に県庁にて話し合いを行った。

出席者（千葉県障害者自立支援協議会 権利擁護専門部会の昨年度の国研修の受講者 3 名と事務局として県担当者 3 名、今年度受講者 3 名（社会福祉士会からは小倉・西沢の 2 名）は計 9 名。

プログラムについての討議を行った。来年度 5 コースの研修を予定しているが、部分的な委託になる可能性もあるとのこと。

千葉県委託高齢者虐待防止対策研修会について

下記の 3 日の日程で、研修を実施した。

- ・平成 24 年 2 月 7 日（火） 君津健康福祉センター 受講者 25 名、講師 2 名、スタッフ 4 名
- ・平成 24 年 2 月 10 日（金） 印旛健康福祉センター 受講者 41 名、講師 2 名、スタッフ 7 名
- ・平成 24 年 2 月 28 日（火） 松戸健康福祉センター 受講者 40 名、講師 2 名、スタッフ 6 名

高齢者虐待対応専門職チームについて

- ・報告会を 3 月 2 日千葉県庁にて実施。

出席者：岡本、久保田、須田、滑川、西沢、宮間、目黒、小倉

- ・2 件の事例報告があった。
- ・来年度の予算は今年度と同様になると確認が取れた。

[研修委員会]

研修啓発部会

【報告】

1、 共通基盤研修 (開催報告)

日時 : 平成 24 年 3 月 10 日 (土) 9:30~15:30 (受付 9:00・12:30)

場所 : 千葉県労働者福祉センター402 会議室

参加者 : 52 名

内容 : 「福祉経営」および「相談援助」

収入	
4,000 (会員 2 領域) × 44	176,000
5,000 (非会員 2 領域) × 5	25,000
2,000 (会員 1 領域) × 3	6,000
2,500 (非会員 1 領域) × 2	5,000
合計	212,000

支出	
講師料 20,000 (120 分) × 2	40,000
スタッフ交通費 2,000 × 5 名	10,000
スタッフ手当 2,000 × 3 名	6,000
会場費 設備費 (会場、プロジェクター)	19,000
合計	75,000

2、 JC 教育研究所 (23 年度事業) 終了にて請求内容報告 ※支出別紙参照

支出			
模擬試験作成費	国試科目分析	解答解説	合計
620,000	76,000	360,000	1,056,000

3、 24 年度基礎研修 I 開催概要 ※別紙参照

社団法人千葉県社会福祉士会 御中

「社会福祉士国家試験対策に関する事業についての覚書」に基づく2011年度内に係る費用のお支払いを、以下の通りの金額にてさせていただきます。つきましてはその明細をご確認の上、ご請求下さい。

株式会社ジェイシー教育研究所
福祉事業部 堀 洋一

①模擬試験作成に関して

Web模擬試験	全150問	
ただし内27問は事例問題とそれに順ずる文章題		
123問 × 5,000円	=615,000円	
27問 × 6,000円	=162,000円	計777,000円
		①合計 777,000円

②模擬試験の営業実績に基づくロイヤリティについて

Web模擬試験	248名分が該当
2012年1月末日段階での有効アカウント数 … 1,248アカウント	
【内訳】個人利用者:348名	(精神保健福祉士の利用も含む)
団体利用:11大学900名	
(1,248-1,000)名 × 受験料1,000円 × 0.2 = 49,600円	
②合計 49,600円	

③国家試験問題分析及び解答解説作成について

問題分析	19科目 × 5,000円 = 95,000円	
解答解説作成	150問 × 3,000円 = 450,000円	
		③合計 545,000円

①②③総計 1,271,600円

生涯研修制度における 新基礎研修の概要 ①

日本社会福祉士会 監修

千葉県社会福祉士会
研修委員会
研修啓発部会

基礎研修の全体像

全体の目標・・

社会福祉士として共通に必要な価値、知識、技術を学び、社会福祉士の専門性の基礎を身につける。

到達点・・

社会福祉士の倫理綱領を理解し、共通基盤の基礎を身につけることで社会福祉援助の展開過程の実践ができ、スーパービジョンや生涯研修について理解し、自ら実践力や専門性を高めるために自己研鑽ができる。

新しい生涯学習制度における 基礎課程の研修

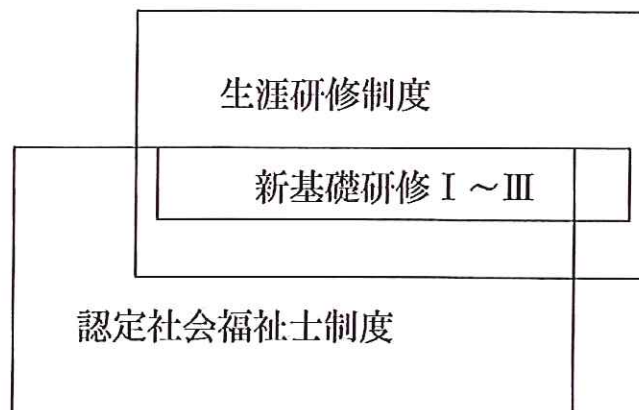
・対 象 : すべての社会福祉士

実施主体 : 都道府県支部

研修期間 : 3年間でⅠ～Ⅲを研修
(それぞれ1年間)

講 師 : 新基礎研修リーダー養成研修を
修了した支部会員が中心となり
講師養成若しくは直接講師を行う。

新基礎研修の位置づけ



◎生涯研修制度の一環としての位置づけであるが、
ここから認定社会福祉士へ至る道筋が構築される。

日本社会福祉会 監修

千葉県社会福祉士会

平成24年度 基礎研修Ⅰ 予定表 (案)

2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
		①受講者募集開始 ②受講者決定 ③事前課題			集団研修Ⅰ 7月28日	④中間課題		集合研修Ⅱ 10月31日					

○募集期間内(4月中旬から6月下旬)で受講可否を決定し、様式『受講決定通知書』

『受講不可通知書』を送付します。

○6月に受講者決定し、『受講決定通知書』と同時に『事前課題提出のお願い』を同封します。

○中間課題については集合研修Ⅰでオリエンテーションを行い、中間課題の配布や提出方法の確認等を行います。提出までの日数は90日以上、最終締め切りは集合研修当日とする。講義や演習の中で事前課題を精査を行います。

○集合研修Ⅱでは次回の基礎研修Ⅱの開催案内を作成し、配布、申込み方法の確認を行います

各段階の領域と内容 (案)

基礎研修Ⅰ (平成24年度より開始)

①事前課題

1) 事前課題 社会福祉士として大切にしたいことについて

『倫理綱領・行動規範をふまえて、あなたが社会福祉士として大切にしたいことについて・・・』 800字程度

2) 事前課題 生涯研修手帳に目を通し、生涯研修制度の概略を理解してください

『生涯研修手帳に目を通し、研修に対してどんなことを期待し、どのように考えてるか』 1200字程度

☆課題実施期間・・・平成24年4月中旬～6月中旬
約1～2か月間

☆最終締め切り日・・・集合研修Ⅰ受講日当日提出

②集団研修Ⅰ (案)

『講義内容及び時間目安』

1) 講義 約60分 『社会福祉士のあゆみ』

日本社会福祉士の設立趣意と組織化の背景や歴史

及び専門職団体として不可欠とされる倫理

綱領の採決並びに改訂の経緯を知る。

千葉県社会福祉士の歴史や全支部法人化に至る経緯を知る。

2) 講義 約60分 『日本社会福祉士会、都道府県社会福祉士会の組織』
専門職団体として日本社会福祉士会の現状及び千葉県社会福祉士会を含めた
各支部組織の現状を知る。

3) 講義 約90分 『生涯研修制度』

生涯研修制度創設の経緯や研修内容の変遷、役割、仕組み、今後の
取り組みを知る

4) 演習 約150分 『社会福祉士の専門性について考える。』
社会福祉士の専門性に気づき、互いの将来像を語ることで自らの
目標の明確化や研修意欲の向上を図る。

◎この研修は事前課題を提出していないと参加できません

③中間課題 (案) (共通基盤研修)

中間課題 1-1 所属組織の社会福祉士実践を知る

所属先のソーシャルワーク機能と社会福祉士が担っている役割や課題についてまとめてください。

1000字程度

中間課題 1-2 所属組織以外の社会福祉士実践を知る

所属先以外の施設や事業所(独立を含む)でソーシャルワークはどのように機能し、社会福祉士はどのような役割を果たしているか、取り上げた実習現場 訪問前に位置づけなどを調べておきましょう。所属先以外の施設や事業所(独立を含む)でソーシャルワークはどのように機能し、社会福祉士はどのような役割を果たしているか、まとめてください。(2か所以上)1か所ごとに1000字程度

(現在所属先がない方など所属先でレポートしにくい場合は課題1-2を3か所にして提出してください。)

中間課題2 『倫理綱領・行動規範の理解』

あなたが日頃の実践を振り返り、『社会福祉士行動規範』と照らし合わせ、2つの項目を取り上げ、あなたの実践を考察してください。(1項目 600字程度)

中間課題3 『社会福祉士共通基盤の理解』

集合研修2 2-1 『社会福祉士共通基盤の理解を読んで、なぜ社会福祉士にとって共通基盤が必要なのか、あなたの日頃の実践を振り返りながらまとめてください。(1000字程度)』

④集団研修 2 (案) (倫理綱領の現場適用)

- ・『講義内容及び時間目安』
- ・ 1) 講義 約 90 分
- ・ 社会福祉士の共通基盤について理解し、どの分野や立場においても必要な専門職の力量について理解する。
- ・ 2) 講義 約 90 分
- ・ 社会福祉士の倫理綱領・行動規範について、専門職として倫理綱領を持つ意味を理解する。
- ・ 3) 演習 約 180 分
- ・ 社会福祉士の倫理綱領・行動規範について、実際の事例を通してその役割や意義を学ぶ

今後の基礎研修Ⅱ、Ⅲの内容とは・・・ (案)

- ・ 基礎研修Ⅱの内容
- ・ ◎目標
- ・ 社会福祉士として共通に必要な価値・知識・技術について学ぶ
- ・ ◎到達点・・・
- ・ 倫理綱領、行動規範、共通基盤、社会福祉援助の展開過程との関係も踏まえながら実践を知る。さらに実践力を高めるため、基礎的な援助技術を身につけ、再度スーパービジョンについて学ぶ。
- ・ 基礎研修Ⅲの内容
- ・ ◎目標
- ・ 社会福祉士として共通に必要な知識、技術を実践と照らし合わせて学ぶ
- ・ ◎到達点・・・
- ・ 社会福祉援助の展開過程を踏まえた実践の言語化や評価ができ、事例検討会を運営することができるようにする。スーパービジョンを体験することで、自ら実践について評価し、研鑽につなぐことができる。

独立型社会福祉士委員会 活動状況（平成 24 年 1 月 26 日～平成 24 年 3 月 13 日）

1. 独立型社会福祉士活動・養成部会

2 月 23 日 独立型社会福祉士委員会 会議

参加者 川島、君和田、吉原、吉田、奥野、高美、佐藤、森脇、出口、大浦。

次期担当予定理事の紹介と承認を行い、前回に引き続き、来年度以降の体制・活動内容について話し合った。

独立型社会福祉士ガイドブック・研修会など担当制を設け、進めていくこととした。

2. 社会復帰促進支援・社会貢献活動部会

ホームレス支援活動

2 月 16 日 千葉市 千葉駅周辺

ホームレス支援活動・見回り、声掛けなど（部会員のみ参加）

参加者 犬伏、川島、西沢、吉原、君和田、佐藤

3 月 14 日（予定） 千葉市 千葉駅周辺

ホームレス支援活動

参加者 犬伏、吉原

。

【事務局報告】

○ 後援

- ・ 社会福祉法人大成会 第 15 回自閉症基礎研修 3 月 17 日
- ・ 千葉県作業療法士会 第 13 回千葉県作業療法士会学会 3 月 18 日

○ 委員推薦

- ・ 八街市地域包括支援センター運営協議会委員および
八街市介護保険地域密着型サービス運営協議会委員 山口美恵子

○ 委員依頼

- ・ 倫理委員会 千葉県弁護士会より佐久間 貴幸弁護士

○ 講師依頼

- ・ 千葉市社会福祉協議会 生活支援員研修 3 月 13 日 目黒副会長

○ 来賓依頼

- ・ 淑徳大学 卒業式 3 月 15 日 神山会長
- ・ 一般社団法人千葉県介護福祉士会 総会 5 月 27 日 未定

○ その他

- ・ 千葉市 地域支え合い体制づくりシンポジウムパネリスト 2 月 5 日 神山会長
- ・ 千葉県 第 2 回千葉県認知症対策推進協議会 2 月 15 日 目黒副会長
- ・ 県社協 第 4 回理事会 3 月 23 日 神山会長
- ・ 千葉県 第 2 回千葉県地域リハビリテーション協議会 3 月 26 日 石山明子
- ・ 千葉県 第 62 回社会を明るくする運動千葉県推進委員会 4 月 25 日 小樽 清
- ・ 千葉県民生委員児童委員協議会 広報誌「特集 社会福祉士」文面の校正依頼

**** 会員情報 ****

2 月 29 日現在 正会員:1,246 名 (新入会:0 名、転入:2 名、転出:1 名、退会:0 名)

➤ 3 月本部会員情報より

事務局報告別紙1 H23年度被災地・者支援補助金申請状況(H24.3.1現在)

		県外	県内	計
申請件数		41	18	59
内 訳	初回	29	11	40
	2回目以降	12	7	19
本会会員		40	18	58
非会員		1	0	1
申請総額		865,000	63,000	928,000

事務局報告別紙2 社会福祉士ささえあい制度 納付額一覧(H23.3.13現在)

	負担金	寄付金	合計額	口座徴収振込料金	納付日	備考
1	10,000	30,000	¥40,000	¥-290	2月3日	
2	30,000		¥30,000	¥-330	2月6日	
3	30,000	5,000	¥35,000	¥-330	2月6日	
4	30,000		¥30,000	¥-290	2月6日	
5	30,000		¥30,000	¥-290	2月6日	
6	30,000		¥30,000	¥-290	2月6日	
7	30,000		¥30,000	¥-290	2月6日	
8	30,000	20,000	¥50,000	¥-290	2月6日	
9	30,000		¥30,000	¥-290	2月6日	
10	10,000		¥10,000	¥-80	2月6日	
11	30,000		¥30,000	¥-330	2月7日	
12	30,000		¥30,000	¥-330	2月7日	
13	10,000		¥10,000	¥-120	2月7日	
14	30,000		¥30,000	¥-330	2月7日	
15	30,000		¥30,000	¥-290	2月7日	
16	30,000		¥30,000	¥-330	2月8日	
17	10,000		¥10,000	¥-120	2月8日	
18	30,000		¥30,000	¥-290	2月8日	
19	30,000		¥30,000	¥-290	2月8日	
20	30,000		¥30,000	¥-290	2月8日	
21	30,000		¥30,000	¥-330	2月9日	
22	30,000		¥30,000	¥-290	2月9日	
23	10,000		¥10,000	¥-80	2月10日	負担金or寄付金不明
24	10,000		¥10,000	¥-80	2月10日	
25	30,000		¥30,000	¥-290	2月10日	
26		25,000	¥25,000	¥-80	2月11日	
27	10,000	10,000	¥20,000	¥-80	2月13日	
28		10,000	¥10,000	¥-120	2月14日	
29	30,000		¥30,000	¥-330	2月15日	
30	10,000		¥10,000	¥-120	2月16日	
31	30,000		¥30,000	¥-330	2月16日	
32	30,000		¥30,000	¥-290	2月16日	
33	30,000		¥30,000	¥-330	2月17日	
34	30,000		¥30,000	¥-330	2月20日	
35	1,000		¥1,000	¥-80	2月20日	
36	10,000		¥10,000	¥-80	2月20日	
37	10,000		¥10,000	¥-80	2月20日	
38	30,000		¥30,000	¥-330	2月21日	
39	30,000		¥30,000	¥-290	2月21日	
40	30,000		¥30,000	¥-290	2月21日	
41	30,000		¥30,000	¥-290	2月21日	
42	30,000		¥30,000	¥-330	2月22日	
43	30,000		¥30,000	¥-290	2月23日	
44		2,000	¥2,000	¥-80	2月24日	
45	10,000		¥10,000	¥-120	2月24日	
46	10,000		¥10,000	¥-120	2月24日	
47		5,000	¥5,000	¥-120	2月24日	
48	30,000		¥30,000	¥-290	2月24日	
49	10,000		¥10,000	¥-80	2月24日	
50	10,000	10,000	¥20,000	¥-120	2月28日	
51		20,000	¥20,000	¥-80	2月28日	
52	10,000	5,000	¥15,000	¥-80	2月28日	
53	30,000		¥30,000	¥-330	2月29日	
54	30,000	10,000	¥40,000	¥-290	2月29日	
55	30,000	0	¥30,000	¥-290	3月1日	
56	10,000	0	¥10,000	¥-80	3月1日	
57		10,000	¥10,000	¥-120	3月5日	
58	30,000	10,000	¥40,000	¥330	3月5日	
59		10,000	¥10,000	¥-120	3月5日	
60	30,000		¥30,000	¥-330	3月5日	
61	30,000		¥30,000	¥-290	3月6日	
62	10,000		¥10,000	¥-80	3月7日	
63	10,000	10,000	¥20,000	¥-120	3月8日	
64	10,000		¥10,000	¥-120	3月9日	
65	30,000		¥30,000	¥-330	3月9日	
66	30,000		¥30,000	¥-330	3月9日	
67	30,000		¥30,000	¥-330	3月9日	

負担金合計	寄付金合計	合計額	振込料金合計	合計額-振込料金
1,391,000	192,000	¥1,583,000	¥-14,550	¥1,568,450